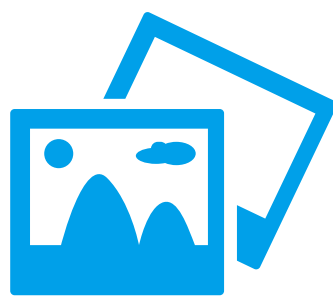


閲覧用

※冊子が必要な方は事務所窓口または
町経営企画課行政経営グループまで
ご連絡ください。

令和
3
年度
決算



グラフと写真でみる まちの**決算**と **財政状況**

北海道栗山町

もくじ



グラフでみる決算概要

○全会計の決算概要と推移	2
○一般会計の決算概要	4
○国民健康保険特別会計の決算概要	6
○北海道介護福祉学校特別会計の決算概要	7
○介護保険特別会計の決算概要	8
○後期高齢者医療特別会計の決算概要	9
○住宅団地造成事業特別会計の決算概要	10
○工業団地造成事業特別会計の決算概要	11
○水道事業会計の決算概要	12
○下水道事業会計の決算概要	13



写真でみる主な実施事業

- 栗山町第6次総合計画の主要施策より -	15
-----------------------	----



グラフでみるまちの財政状況

○基金残高の推移	22
○町債残高の推移	23
○財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況	24

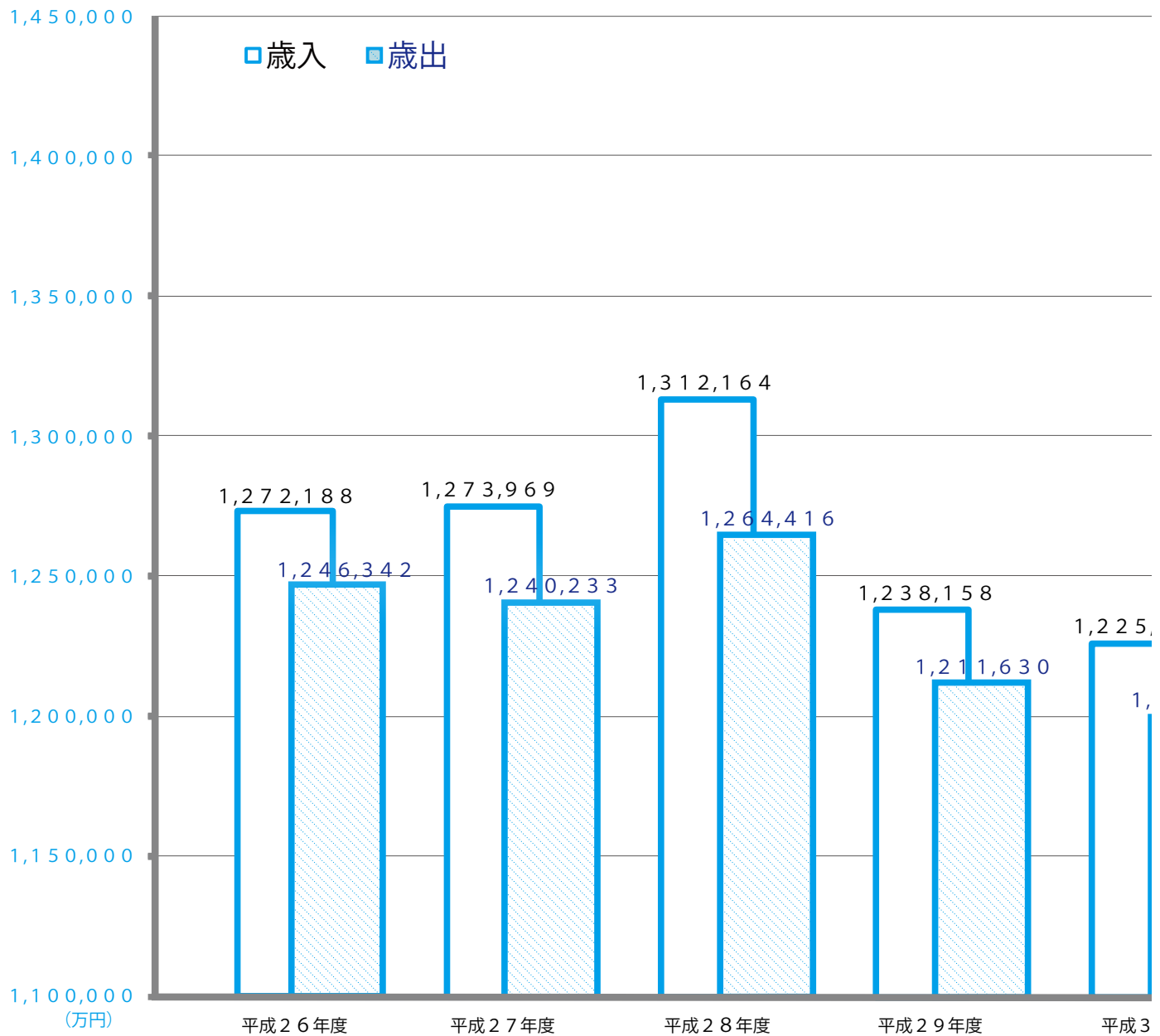
参考

南空知9市町の令和2年度普通会計決算概要	25
----------------------	----



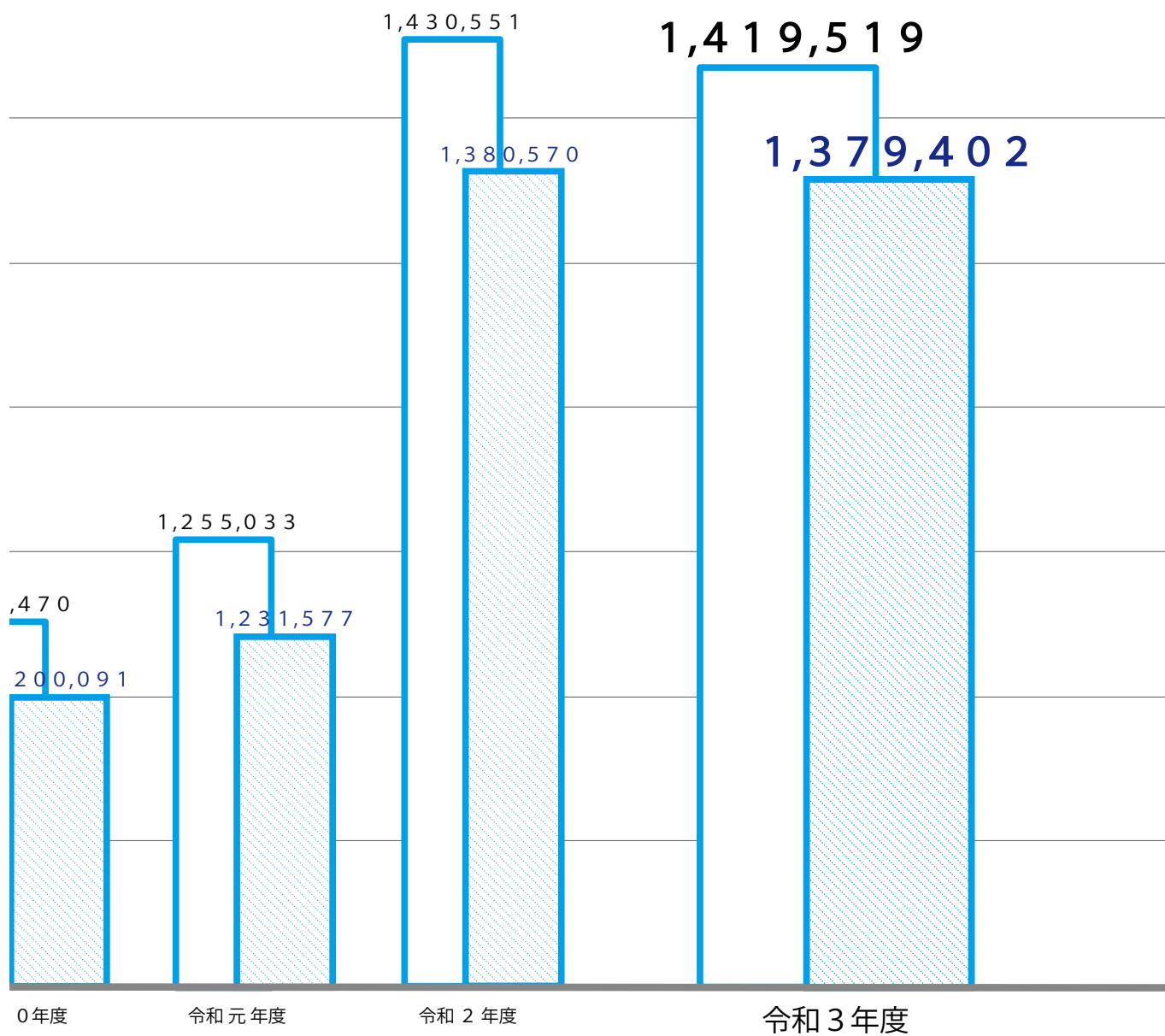
グラフでみる
決算概要

全会計の決算概要と推移



令和3年度の一般会計・特別会計（国民健康保険特別会計、北海道介護福祉事業特別会計、工業団地造成事業特別会計）・企業会計（水道事業会計、下水道事業会計）を除いた会計の令和3年度決算総額は、歳入で141億9,519万1,168円の減）となりました。

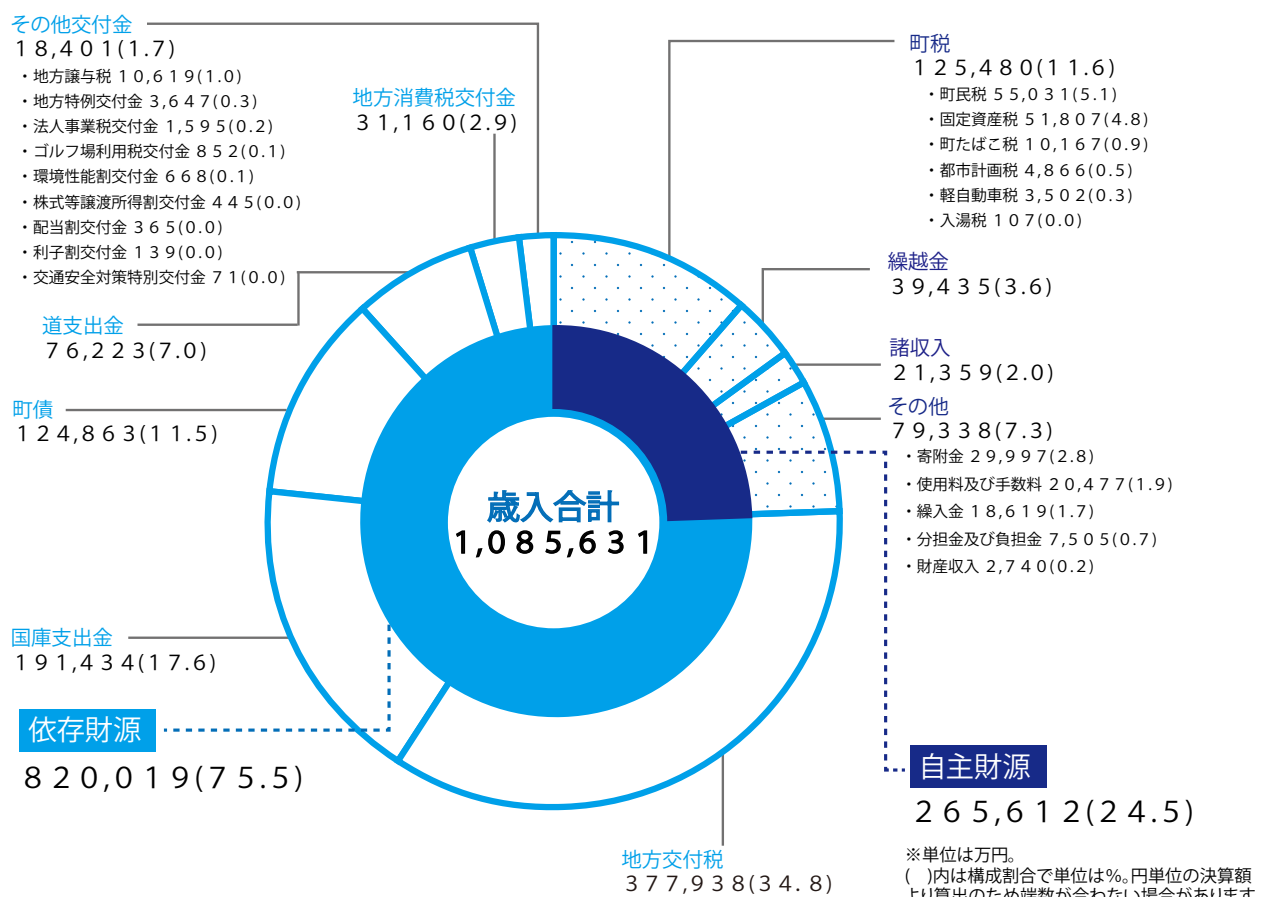
※企業会計（水道事業・下水道事業）を除いた
全会計の合計値です。



祉学校特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅団地造成
事業会計）の決算が、9月議会定例会議で認定されました。

万円（前年比1億1,032万円の減）。歳出で137億9,402万円（前年比

一般会計の決算概要

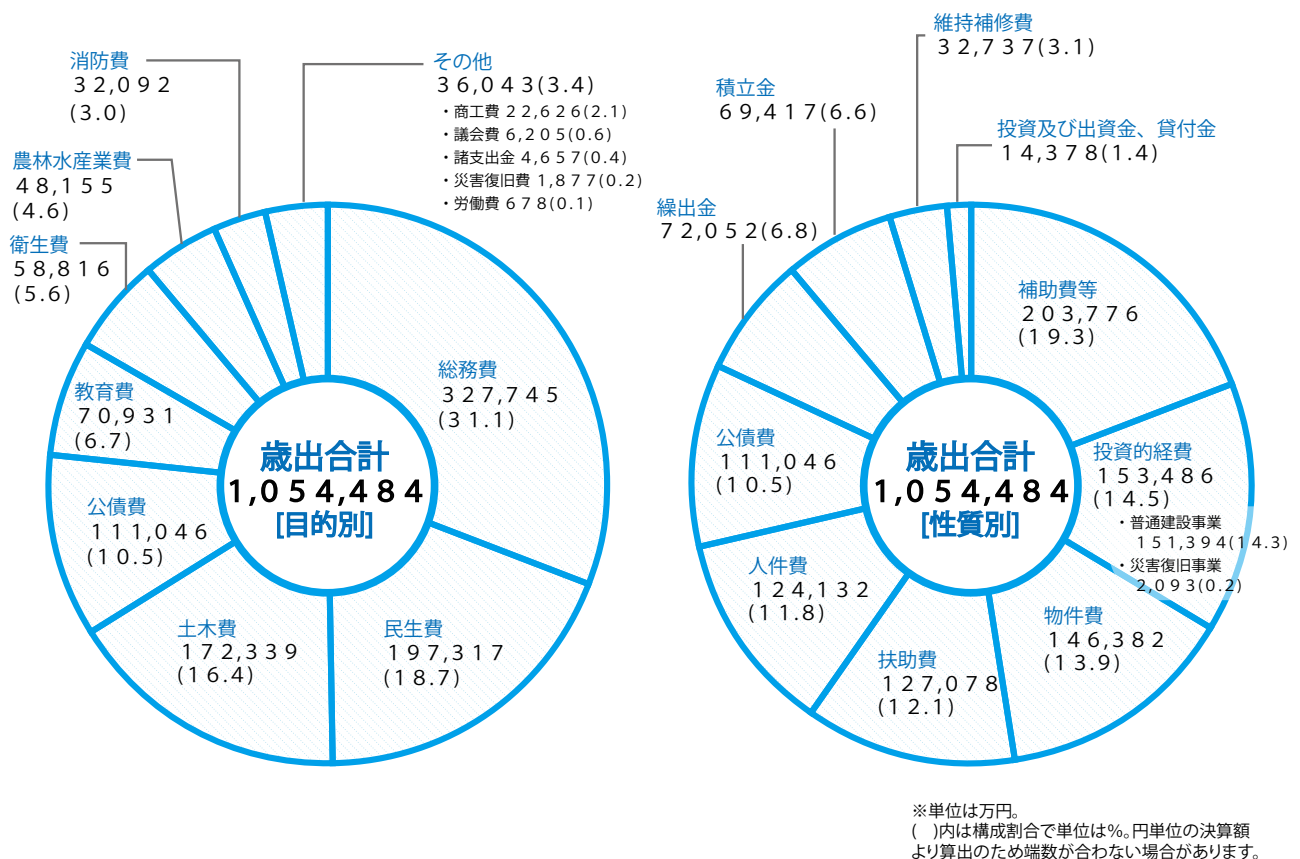


歳入総額は108億5,631万円。

前年比1億5,868万円の減。

一般会計とは行政運営の基本となる会計で、福祉や教育、消防などまちづくりに広く関わる事業における会計です。歳入（収入）総額は108億5,631万3,283円。歳出（支出）総額は105億4,484万5,200円となり、差額の3億1,147万2,763円を次年度に繰り越しました。

なお、繰越額の中には、次年度に実施する事業財源37万5,000円が含まれているため、実質収支は3億1,109万7,763円になりました。



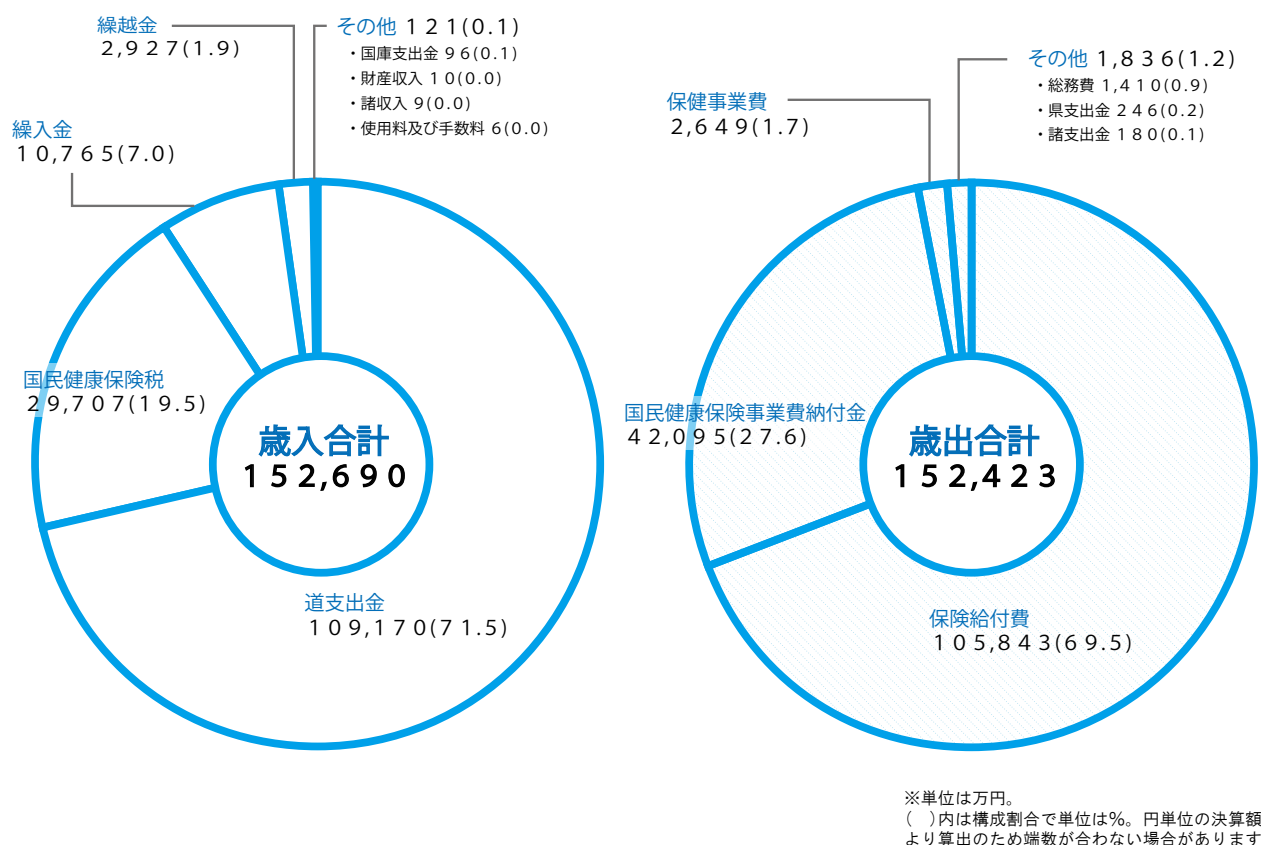
歳出総額は105億4,484万円。
 前年比7,580万円の減。

歳入は、国庫支出金や道支出金の減により、前年度比で約1億5,868万円の減となりました。歳入全体の構成は町税や使用料など、町が独自に確保している自主財源の割合が24.5%、地方交付税や国・道からの交付金などの依存財源の割合が75.5%となりました。

歳出は、前年度比で約7,580万円の減となりました。増減が大きい費目としては、土木費が約1億8,772万円の増、総務費が約3億6,194万円の減となりました。

歳出全体の構成は、総務費が最も多く、次に民生費、土木費と続いています。

国民健康保険特別会計の決算概要

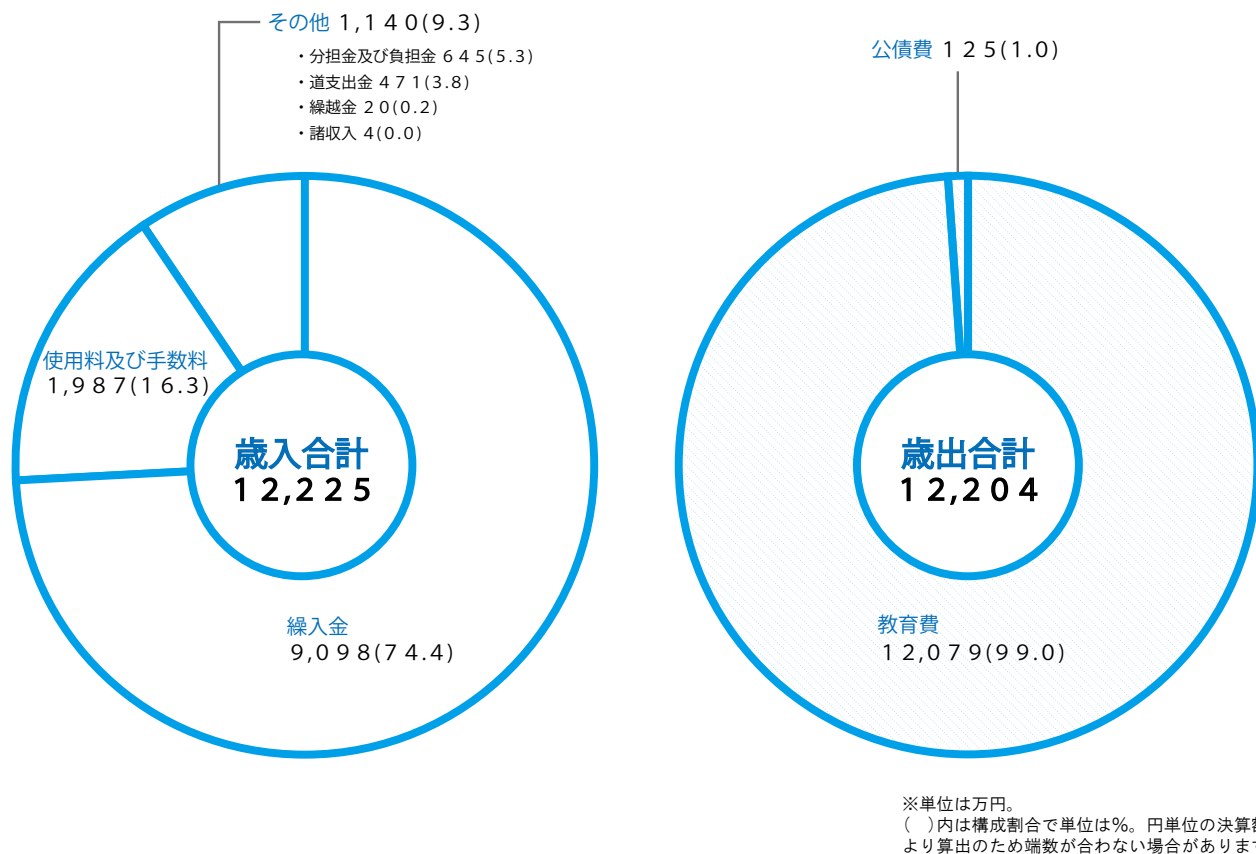


歳入15億2,690万円。歳出15億2,423万円。
267万円を翌年度に繰り越しました。

国民健康保険特別会計とは、国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

令和3年度末の国民健康保険に加入している世帯数は1,623世帯、被保険者数は2,693人で、町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。

北海道介護福祉学校特別会計の決算概要

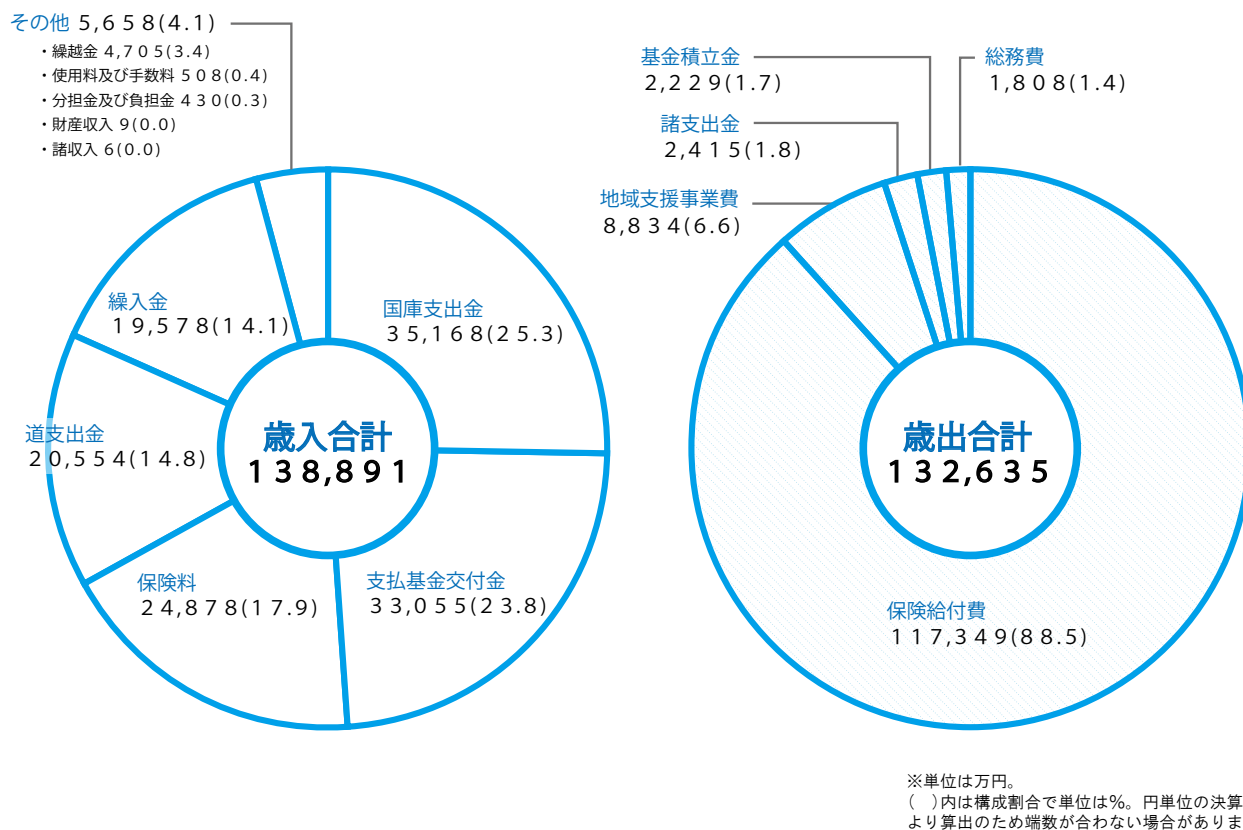


歳入1億2,225万円。歳出1億2,204万円。
21万円を翌年度に繰り越しました。

北海道介護福祉学校特別会計とは、町立北海道介護福祉学校の運営のため、一般会計と区分された会計です。

社会情勢などにより入学者数は定員数に満たないものの、介護福祉士人材の求人数は堅調で、開校以来33年連続就職率100%を達成しました。

介護保険特別会計の決算概要



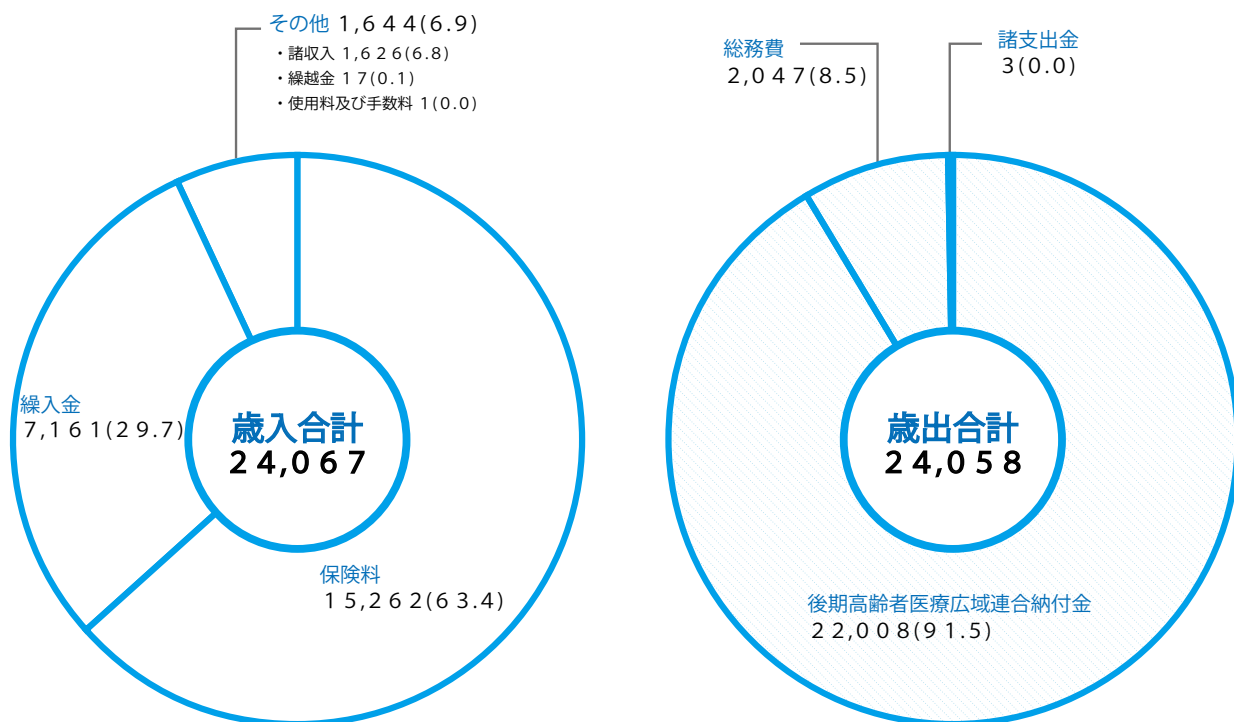
歳入13億8,891万円。歳出13億2,635万円。
 6,256万円を翌年度に繰り越しました。

介護保険特別会計とは、介護保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、福祉の増進に努めました。

また、将来に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

後期高齢者医療特別会計の決算概要



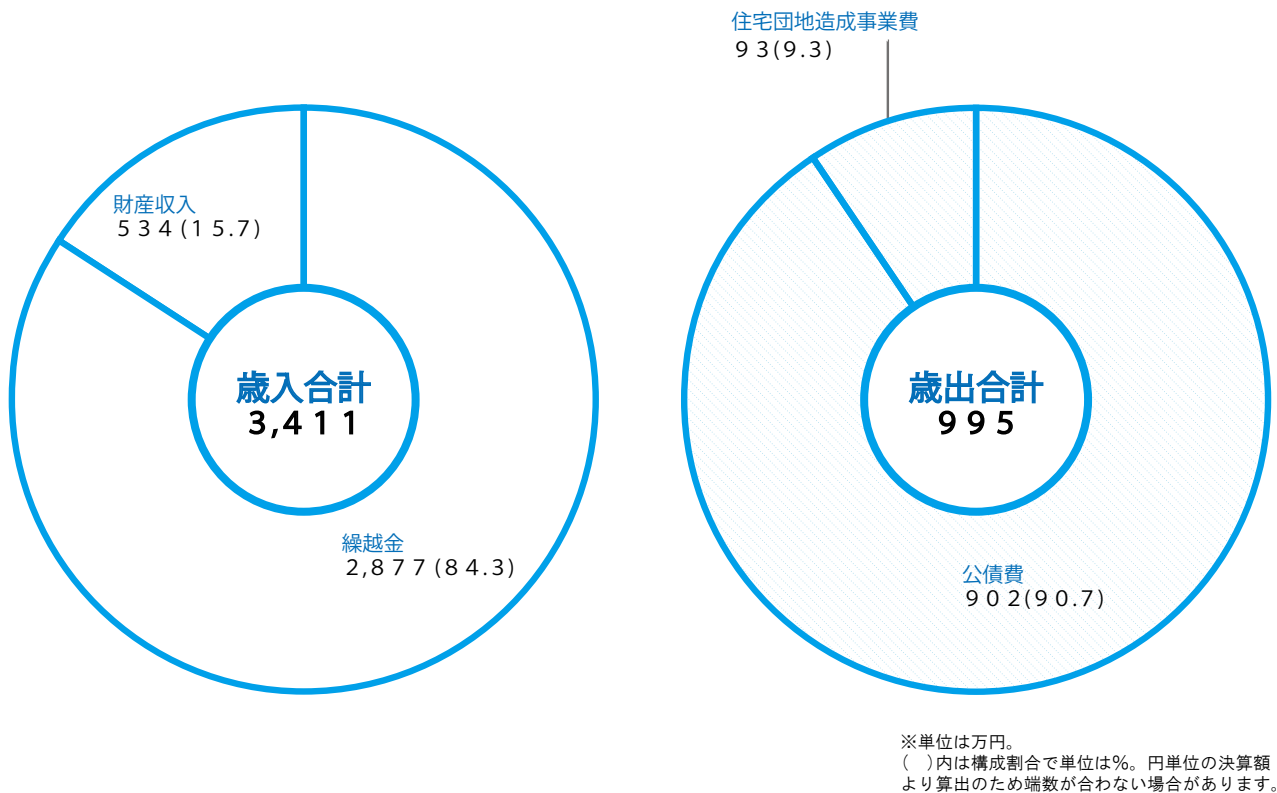
※単位は万円。
 ()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入2億4,067万円。歳出2億4,058万円。
 9万円を翌年度に繰り越しました。

後期高齢者医療特別会計とは、後期高齢者医療事業の円滑な運営とその経理の適正を図るため、一般会計と区分された会計です。

北海道後期高齢者医療広域連合が主体となって運営していますが、本町では高齢者の健康保持と増進のため、被保険者の資格管理の窓口事務や保険料の徴収などを行い、医療費の適正化に努め、健全な医療給付を進めました。

住宅団地造成事業特別会計の決算概要

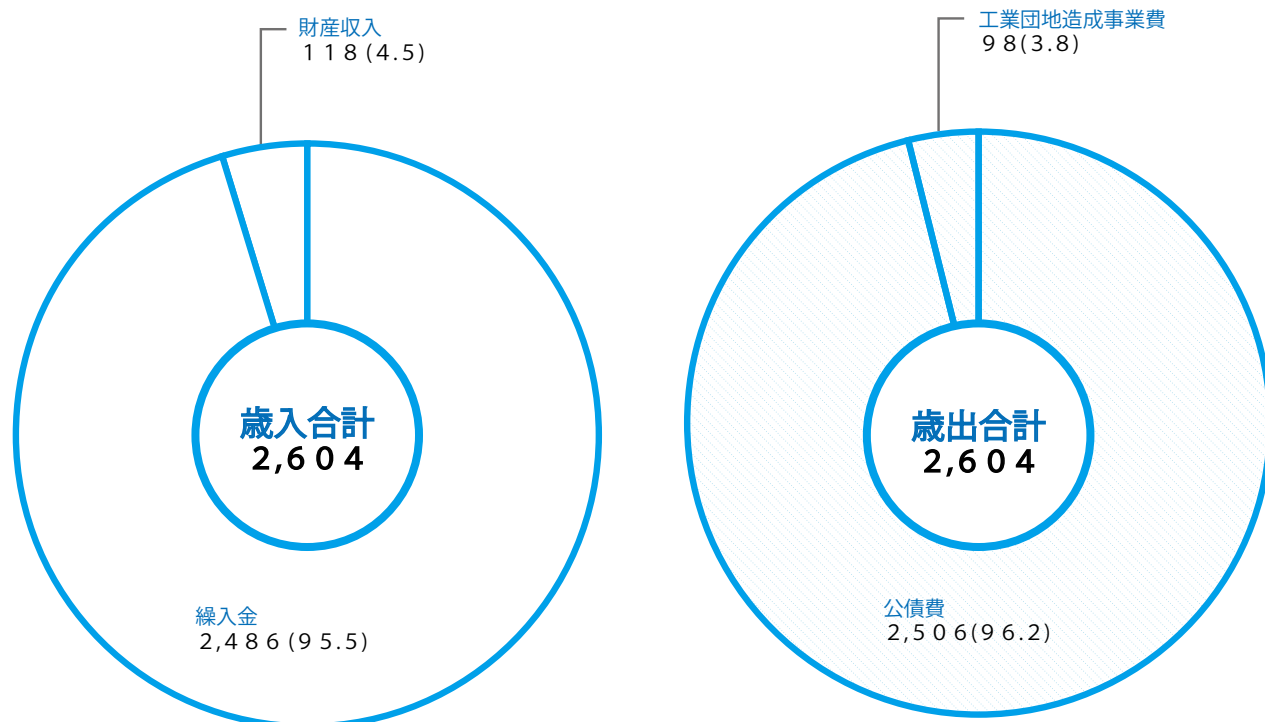


歳入3,411万円。歳出995万円。
2,416万円を翌年度に繰り越しました。

住宅団地造成事業特別会計とは、朝日4丁目住宅団地第4期造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成27年10月より分譲を開始（全19区画）し、令和3年度末までに16区画を販売しました。

工業団地造成事業特別会計の決算概要



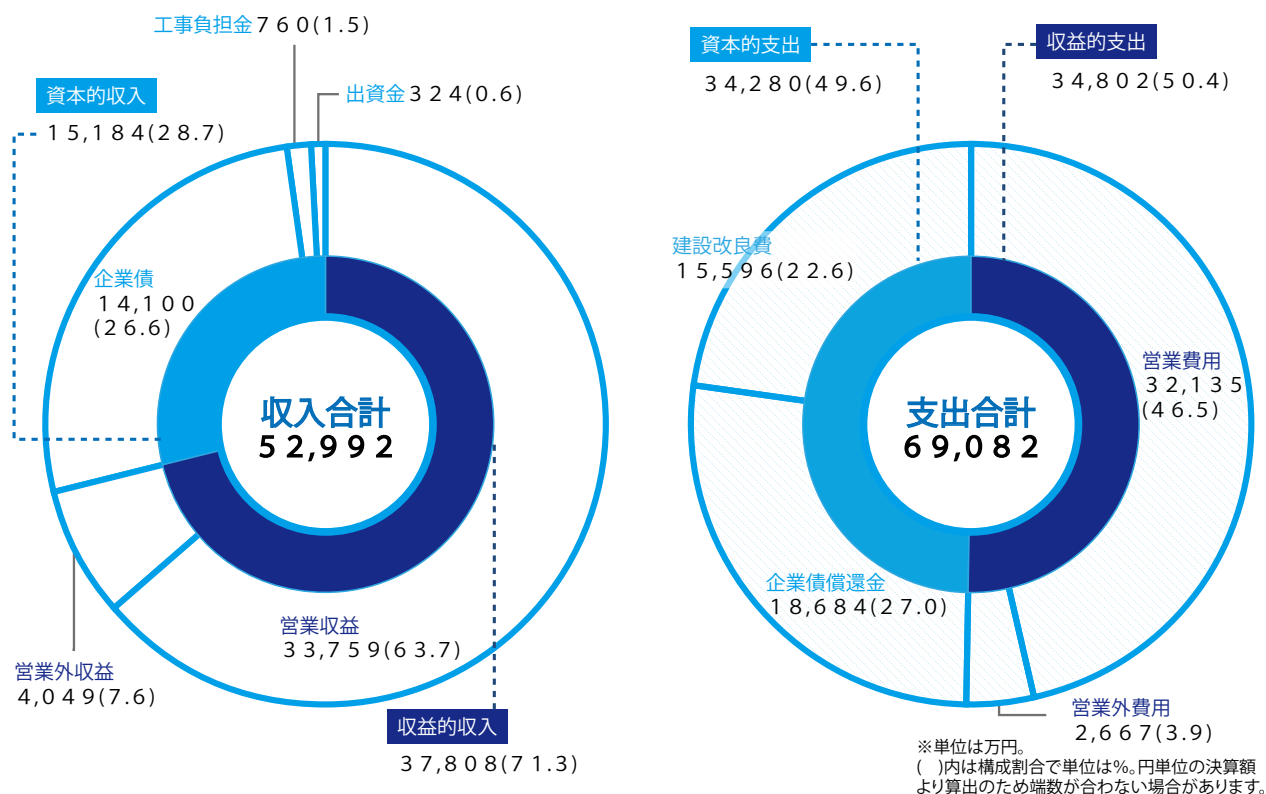
※単位は万円。
()内は構成割合で単位は%。円単位の決算額より算出のため端数が合わない場合があります。

歳入 2,604 万円。歳出 2,604 万円。

工業団地造成事業特別会計とは、第4工業団地造成事業を実施するため、一般会計と区分された会計です。

平成30年度より分譲を開始（全7区画）し、令和3年度末までに3区画を賃貸借、2区画を販売しました。

水道事業会計の決算概要



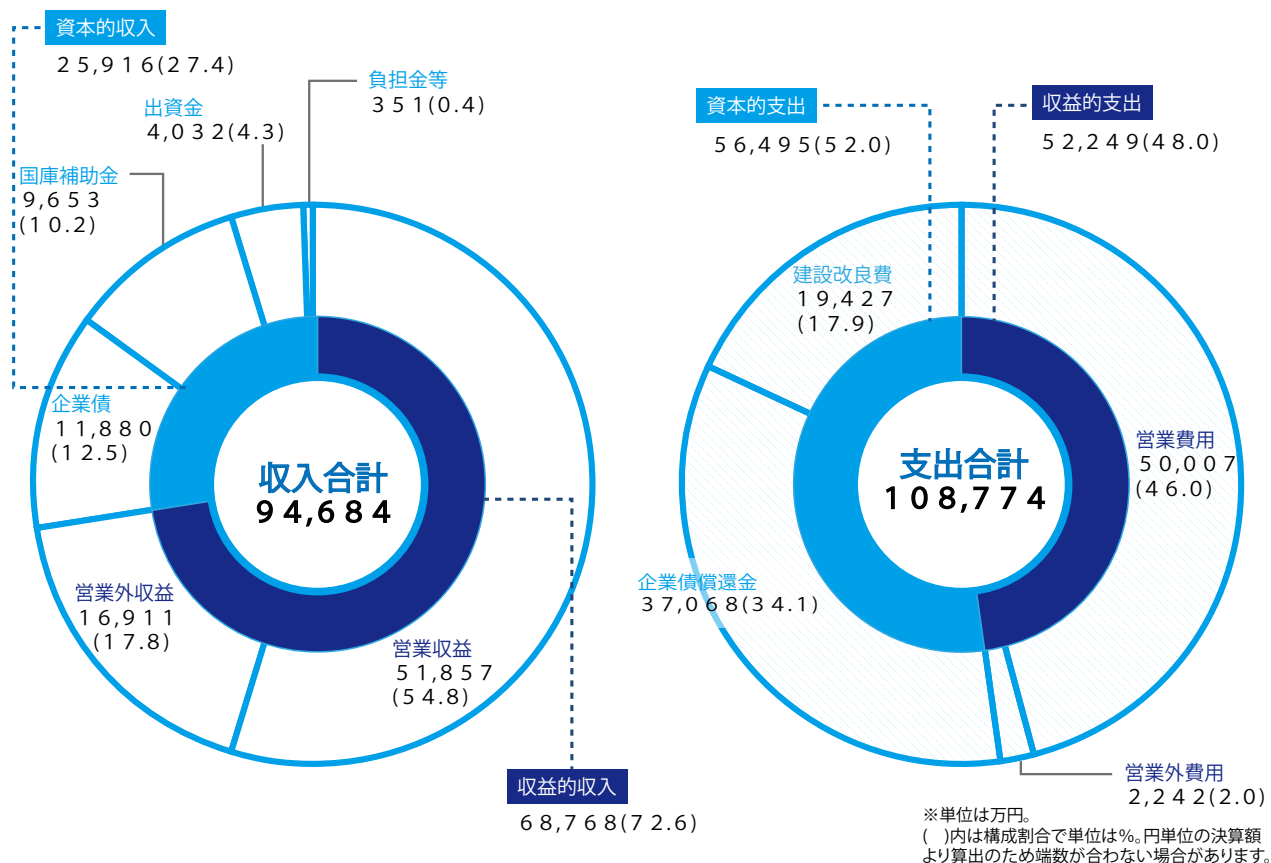
収入5億2,992万円。支出6億9,082万円。
会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

水道事業会計とは、水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。

水をつくり家庭などに届けるための経費(収益的収支)では3,006万円の黒字となりましたが、浄水場の設備更新や配水管の整備などに使用するための経費(資本的収支)では1億9,096万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金(損益勘定留保資金など)で補てんしました。

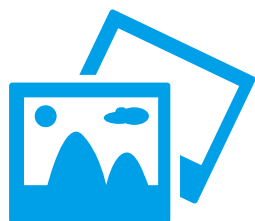
下水道事業会計の決算概要



収入9億4,684万円。支出10億8,774万円。
会計処理上の不足額は損益勘定留保資金などで補てん。

下水道事業会計とは、下水道事業を運営するため企業会計によって区分された会計です。下水道管や下水道管理センターの維持管理に必要な経費（収益的収支）では1億6,519万円の黒字となりましたが、下水道管や下水道管理センターの設備更新や取り替えなどに使用するための経費（資本的収支）では3億579万円の不足となりました。

不足額については、減価償却費など収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用によって生じた資金（損益勘定留保資金など）で補てんしました。



写真でみる

主な実施事業

栗山町第6次総合計画
の主要施策より

※栗山町第6次総合計画に掲載されている計画事業番号、事業名、決算額及び、事業に関連した写真を掲載しています。

計画
事業
6

町内会・自治会などによる、地域環境美化の運動を支援します。



(全町一斉清掃の実施)

決算額 496 千円

計画
事業
11

災害用物資の計画的な備蓄を進めるとともに、備品保管倉庫を整備します。



(新たに備蓄した食料)

決算額 3,292 千円

計画
事業
20

消防団施設の更新など、充実・強化を図ります。



(更新したポンプ車)

決算額 36,942 千円

計画
事業
25

消費生活に関する啓発活動の支援や相談窓口の充実を図ります。



(消費者まつりの実施)

決算額 1,298 千円

計画
事業
26

学校教育におけるICTの利活用を推進します。



(整備した自宅学習用持ち帰りバック)

決算額 16,349 千円

計画
事業
35

「子ども夢づくり基金」を活用し、児童生徒のスポーツ・文化活動を支援します。



(全国大会の参加経費の一部を助成)

決算額 1,323 千円

計画
事業
37

コミュニティスクール（学校運営協議
会制度）の導入を進めます。



（土曜事業「福祉学習」の実施）

決算額 1, 1 4 6 千円

計画
事業
49

安全な給食提供のため、備品・食器な
どの計画的な更新を行います。



（更新した真空冷却機）

決算額 1 2, 9 8 0 千円

計画
事業
197

栗山高校の魅力づくりを進めます。



（近隣中学校への生徒募集の実施）

決算額 1, 4 7 5 千円

計画
事業
55

自然・社会体験など、青少年の体験
活動の機会を提供します。



（キッズクラブ「川下り体験」の実施）

決算額 5 8 千円

計画
事業
59

町民の読書活動を支援します。



（図書館での絵本の読み聞かせの実施）

決算額 6 0, 4 9 9 千円

計画
事業
63

ハサンベツ地区の里山環境を保全・
再生します。



（ハサンベツ里山での保全活動の実施）

決算額 1 1, 1 3 8 千円

計画
事業
67

年齢や技術・技能の段階に応じた生涯スポーツを推進します。



(くりやまウォークラリーの実施)

決算額 3,356 千円

計画
事業
75

ふるさと栗山の文化財保護・活用を推進します。



(収蔵品の特別展示会の実施)

決算額 7,094 千円

計画
事業
85

地域や団体の健康づくり活動を支援し、健康を支え守る環境を整備します。



(健足くらぶの実施)

決算額 610 千円

計画
事業
102

生活支援を中心とした地域包括ケアの充実を図ります。



(認知症サポーター養成講座の実施)

決算額 66,214 千円

計画
事業
105

高齢者の社会参加と活動の場づくりを推進します。



(交流事業「町内会ふれあいサロン」の実施)

決算額 2,684 千円

計画
事業
110

新規就農者の受け入れを進めます。



(研修を終え、経営を開始した新規就農者)

決算額 29,745 千円

計画
事業
118

有害鳥獣駆除対策を推進します。



(捕獲用罠の設置)

決算額 6,303 千円

計画
事業
193

ものづくりDIY工場の導入・活用を推進します。



(ものづくりワークショップの実施)

決算額 17,008 千円

計画
事業
129

栗山町への移住・定住を促進します。



(移住コーディネーターによる移住相談の実施)

決算額 5,276 千円

計画
事業
192

くりやま若者シティプロモーション事業を推進します。



(クリエイティブコンテストの実施)

決算額 7,371 千円

計画
事業
137

冬期間における道路環境の維持・確保を図ります。



(除雪の実施)

決算額 222,322 千円

計画
事業
138

地域間（都市間）交通の確保と利便性の向上を図ります。



(JR乗車体験の実施)

決算額 8,203 千円

計画
事業
141

公営住宅の整備・改修を行います。



(建て替えた中央団地)

決算額 244,502 千円

計画
事業
152

新町地区の再開発整備事業に取り組みます。



(整備した元町通り)

決算額 592,003 千円

計画
事業
157

国道 234 号線の整備要望と、角田地域振興策を検討します。



(栗山町国道 234 号整備促進期成会の設立)

決算額 979 千円

計画
事業
161

老朽化した公園施設の安全確保のため、計画的に修繕・更新を行います。



(修繕した公園)

決算額 1,535 千円

計画
事業
163

御大師山周辺ガイドブックを作成し、散策路・周辺施設の利活用を促進します。



(設置したサイン看板)

決算額 3,987 千円

計画
事業
186

コミュニティ放送により、町民との情報共有手段の充実を図ります。



(コミュニティ放送局開設に向けたPRイベントの実施)

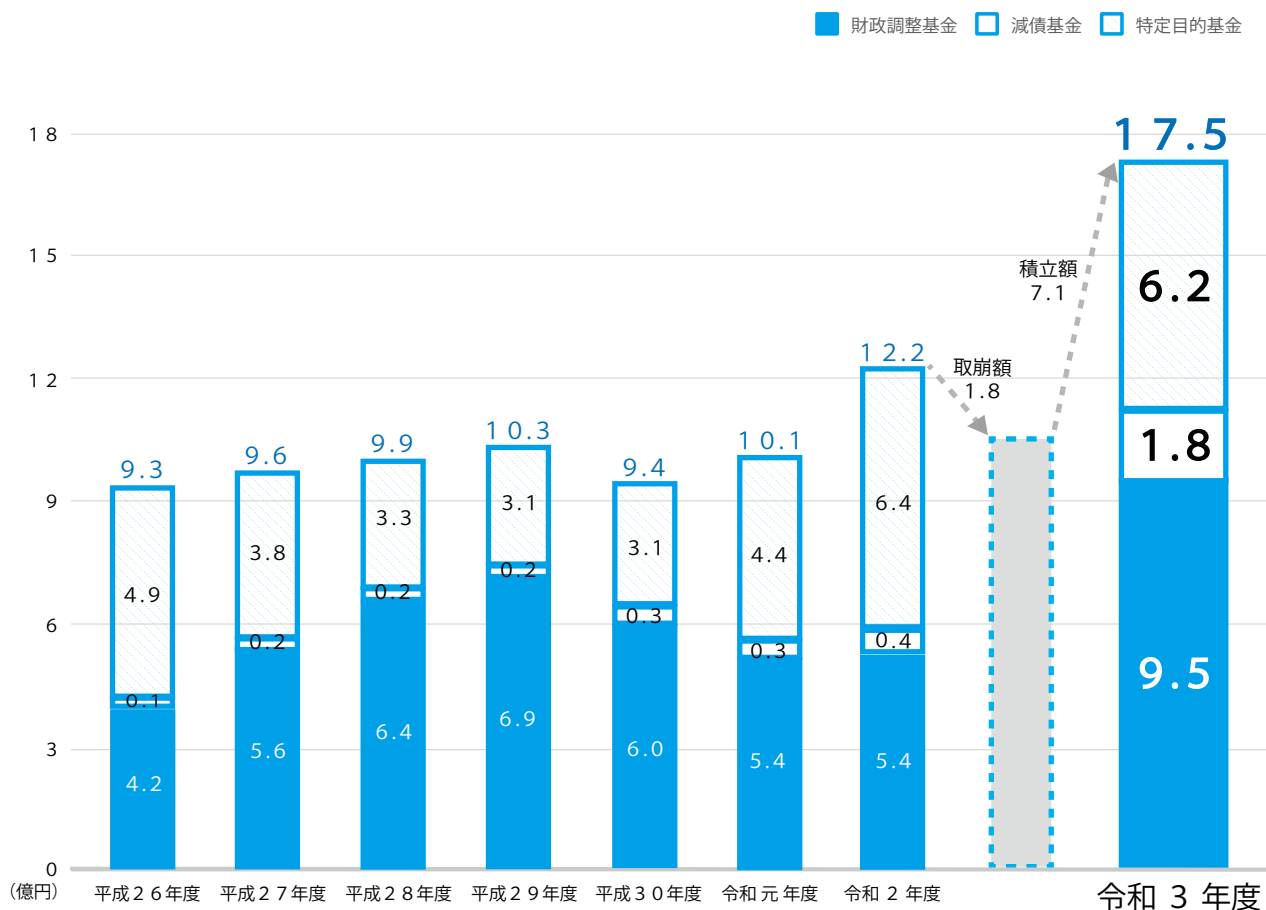
決算額 13,550 千円



グラフでみる

まちの財政状況

基金残高の推移（一般会計）

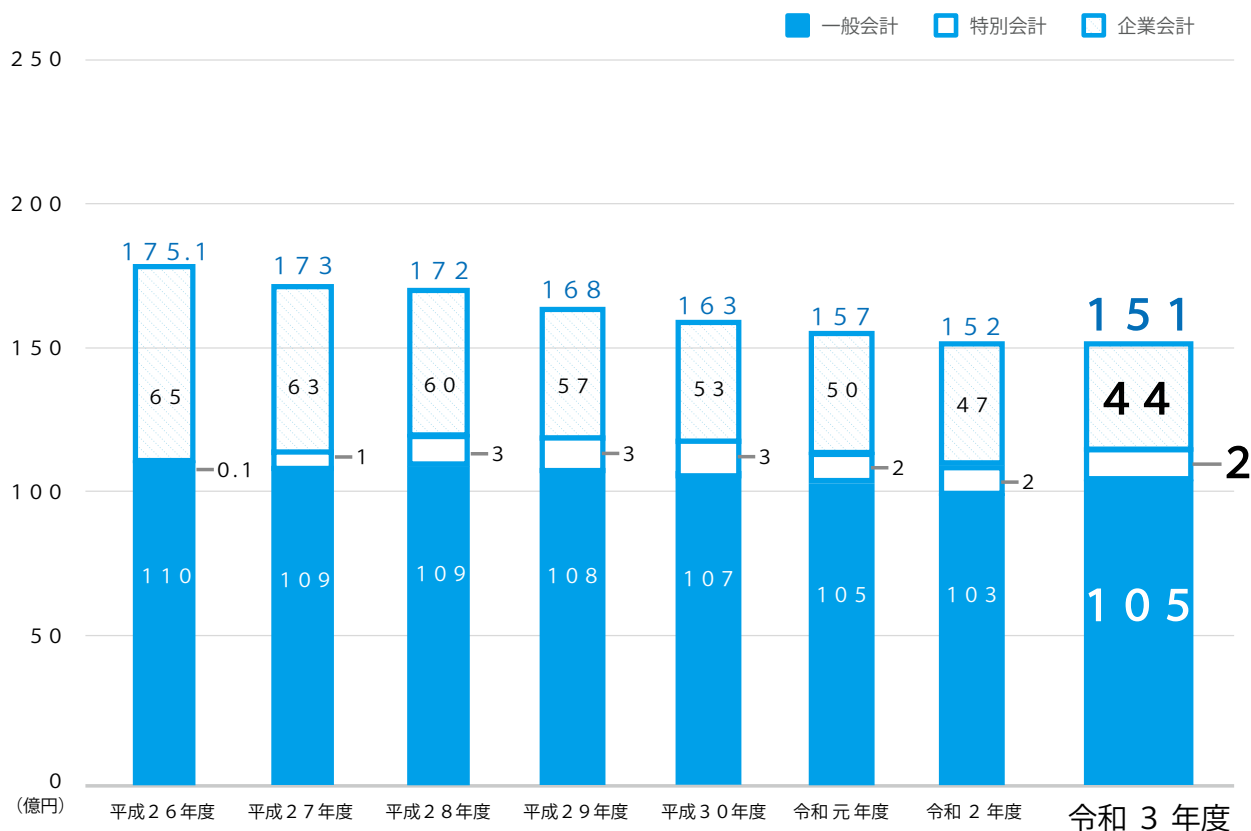


基金の年度末残額は17億5,083万円。
前年比5億2,324万円の増になりました。

安定した財政運営を進めるための貴重な財源として、決算に伴う余剰金の一部や、寄附金などを原資として積み立てた基金の年度末残高は、一般会計分で17億5,083万円になり、前年度比で5億2,324万円の増となりました。

なお、令和3年度における取り崩し額は1億8,573万円で、積み立て額は7億897万円です。

町債残高の推移（全会計）



町債の年度末残高は151億2,828万円。
前年比1億5,732万円の減になりました。

町債（町の借入れ金）には、毎年の財源負担を平均化する役割と、現在と将来の町民負担を公平にする役割があり、町では財政状況を悪化させないよう、町総合計画や行財政改革推進計画等に基づき、計画的な借入れを行っています。

町債の年度末残高は全会計分で151億2,828万円となり、前年比で1億5,732万円の減となりました。

財政健全化法に基づく指標からみた財政の健全化状況

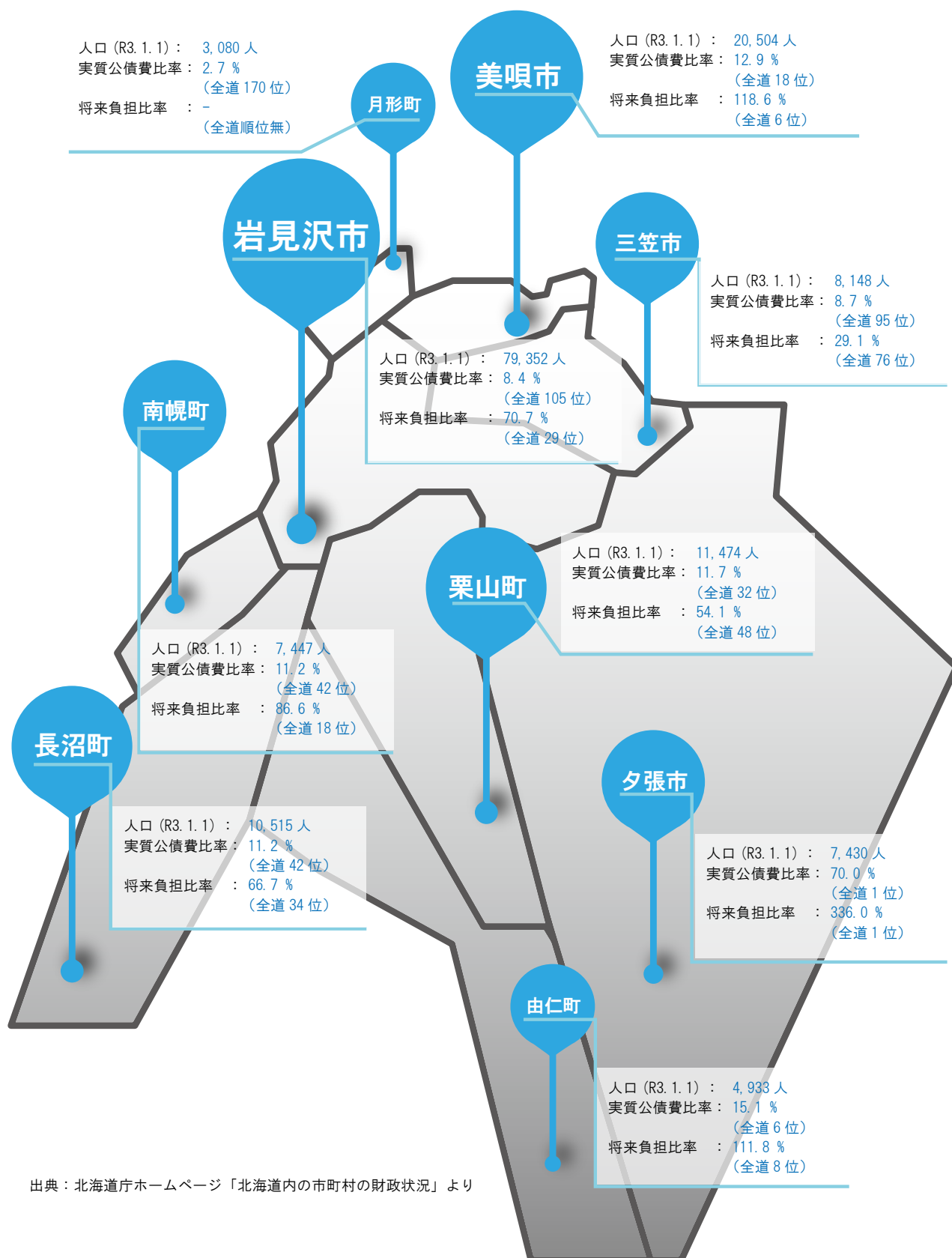
指 標		指標の説明	比 率 (R3 決算)	全道市町村 の平均 (R2 決算)	基準値	
					早期健全化 基 準	財政再生 基 準
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	15%	20%
	連結実質赤字比率	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率	該当無	基準値以上の団体無	20%	30%
	実質公債費比率	一般会計が負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率	10.3%	7.0%	25%	35%
	将来負担比率	一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	33.2%	38.3%	350%	
資金不足比率 (水道・下水道事業、住宅団地・工業団地造成事業)		資金不足額（赤字額）の事業規模に対する比率	該当無		20%	

まちの財政は「健全基準」にありますが、
依然として厳しい財政状況が続いています。

財政の健全さを計る指標を導入し再建の枠組みを定めた「財政健全化法」に基づき、町の財政状況を分析しています。

本町では、計画的かつ健全な財政運営に努めていますが、実質公債費比率や将来負担比率は依然として全道市町村平均を上回っていることから、厳しい財政状況が続いています。

南空知9市町の令和2年度普通会計決算概要



出典：北海道庁ホームページ「北海道内の市町村の財政状況」より

本冊子は、令和３年度の決算概要をご理解いただくため、要点を絞り作成しました。
詳しい内容については、資料編「令和３年度主要な施策の成果表」をご覧ください。
なお、お寄せいただいたご意見、ご感想などを次年度の冊子作成の際の参考とさせていただきます。
町の財政情報を的確に、そして、分かりやすくお知らせしていくためのご意見などをお待ちしております。

発 行 / 栗山町

発行日 / 令和４年１０月

編 集 / 経営企画課行政経営グループ

〒０６９－１５１２ 北海道夕張郡栗山町松風３丁目２５２番地

ＴＥＬ：０１２３－７３－７５０３（直通） ＦＡＸ：０１２３－７２－３１７９（代表）

ＷＥＢ：<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/> ※ホームページにも本冊子の内容を掲載しています。